

## 令和 5年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

幸町ルーム 単位%

チェック項目						
	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標工夫している点など		
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	0	80	20	・天候によってですが、屋外での活動や体育館等を利用して補っています。	
	② 職員の配置数は適切であるか	80	20	0	・必要最低人数より2名多く配置しています。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	20	80	0	・必要に応じて適宜検討致します。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	60	20	20	・会議や話合いの機会を増やしたり、研修会への参加を検討致します。	
	⑤ 保護者等意向評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	60	20	20	・各職員がアンケートを見直して、職員間で周知して業務改善に努めます。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページで公開しているか	100	0	0	・毎年、5月以降に法人のHPにて公開して、広報誌でも告知しています。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	60	40	・今後、検討致します。	
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	20	80	0	・リモートでの参加が増えています ・研修を他事業から情報を集めての参加が多いです。	
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	60	20	20	・児童発達支援管理責任者が面談を実施して、保護者様の希望や要望に添えるように計画を立てています。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	40	40	20	・今後も適宜、色々なアセスメントツールを取り入れていきます。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	60	40	0	・ミーティング、会議で意見交換を実施していきます。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	60	20	20	・マンネリ化しないように、会議等で見直しや振り返りを実施していきます。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめて細やかに設定して支援しているか	60	40	0	・平日は月毎、曜日毎、休日は午前と午後で活動内容を工夫して設定しています。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	60	20	20	・子供の人数や障害の程度、職員の把握人数によって適宜、作成しています。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	80	0	20	・ミーティングを実施して役割分担を確認しています。	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	0	80	20	・職員の退勤時間がバラバラなので難しい事が多いですが、今後、検討していきます。	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	80	0	20	・記録記入の時間がなかなか取れない事もありますが、時間が空かない内に記入するようにしています。	

	⑯	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	80	20	0	・年2回のモニタリングの実施、内容と結果を会議にて報告しています。
	⑰	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援をおこなっているか	40	40	20	・適宜検討を行い実施していきます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護す後の連携	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	0	100	0	・会議に呼ばれる機会がありませんが、機会があれば出席を検討します。
	⑲	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時間の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	40	40	20	・毎月、利用予定表をお渡したり、学校の予定についてはメールにて配信があります。
	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	80	20	・医療的ケアが必要なお子さんを受け入れる際は検討していきます。
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	20	60	20	・関係機関から引継ぎノートを頂いたり、保護者への聞き取りを実施していますが、必要に応じて検討していきます。
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	20	80	0	・他事業より要請があれば、個人情報以外の情報提供を行っています。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修をうけているか	20	40	40	・利用児童の受け入れの際に見学に行ったり、情報収集を実施しています。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	60	40	・公園等の公共の場で一緒に過ごす事がある程度になります。
	㉕	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	20	60	20	・事業所の代表者が参加しています。
	㉖	日頃から子どもの状況や保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	80	20	0	・連絡帳や送迎時、電話連絡の際にお話しして共通理解を行うようにしています。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアトレーニング等の支援をおこなっているか	20	20	60	・保護者様のご要望に応じて実施を検討していきます。
	㉘	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	60	20	20	・契約時に説明を行い、質問や変更があった場合は再度、説明を行っています。
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	60	40	0	・相談があれば適切に対応させて頂き、その都度職員が助言や対応を行っています。
	㉚	父母の会の活動を応援したり、保護者同士の連携を支援しているか	0	40	60	・協力要請があれば、適宜検討して必要に応じて支援していきます。
	㉛	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	60	20	・どんな内容でも職員が傾聴して適切に対応するように心がけています。
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	80	20	0	・月に1回、事業所の広報誌を作成して保護者様へ活動内容をお伝えしています。

非常時の対応	③⁵	個人情報に十分注意しているか	60	40	0	・記録の管理、保管場所の施錠や職員への周知を実施しています。
	③⁶	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	80	20	0	・時間を掛けて信頼関係を結び、細かい部分でのフォローを心掛けています。
	③⁷	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	60	40	・地域の行事には参加していますが、今後検討していきます。
	③⁸	緊急時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	40	20	40	・定期的な会議の実施と必要に応じて、保護者様や職員へ周知しています。
	③⁹	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練をしているか	80	0	20	・BCP研修の開催、年1回以上の訓練を実施しています。
	③⁹	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	40	40	20	・虐待防止委員会の開催と毎月の会議日に支援の振り返りを実施しています。
	③¹¹	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	80	20	0	・保護者様へ身体拘束同意書を頂き、職員全員で3要件について確認して、身体拘束を行った場合は保護者様へ報告を行うようにご説明しています。
	③¹²	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100	0	0	・アレルギーがあるお子様について職員全員で周知して、必要に応じて対応しています。
	③¹³	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80	20	0	・月単位で作成して会議等で職員全員が周知しています。

令和6年 3月 実施